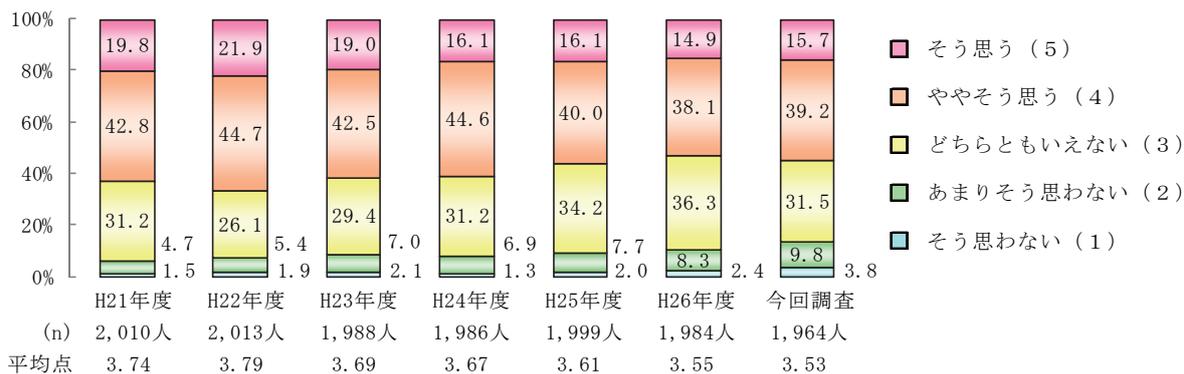


Q 7 (e) 裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなった

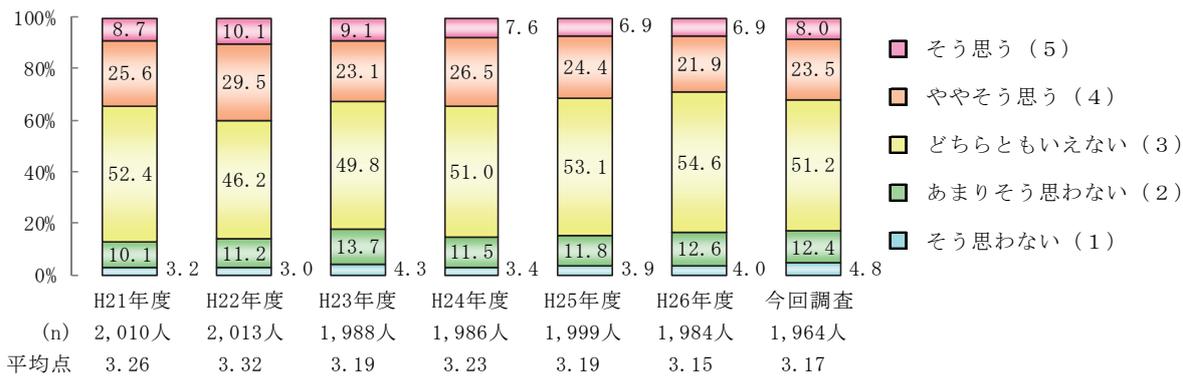


裁判員制度実施後の変化として『裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は54.9%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は13.6%となっている。

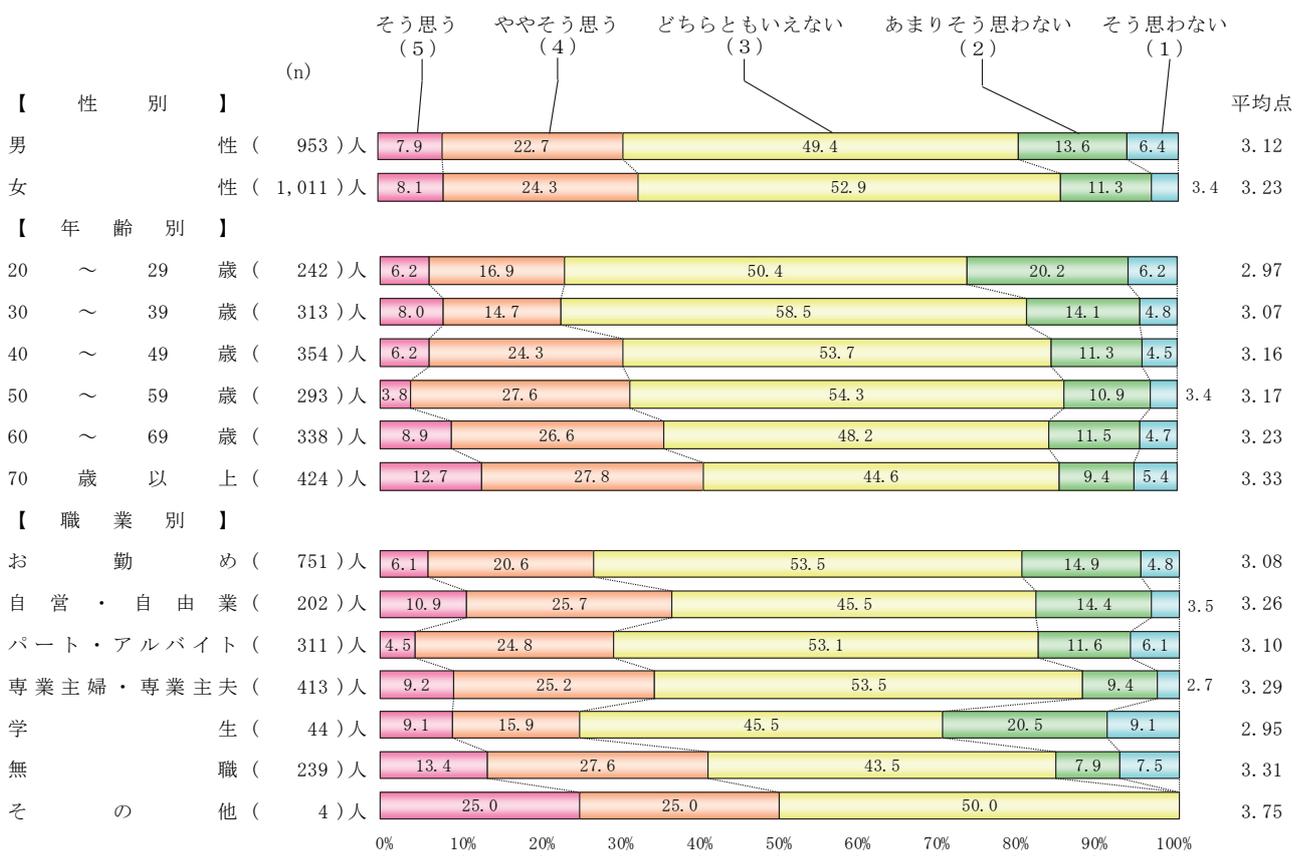


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、60代が最も低く、職業別では、学生が最も高くなっている。

Q 7 (f) 事件の真相がより解明されている

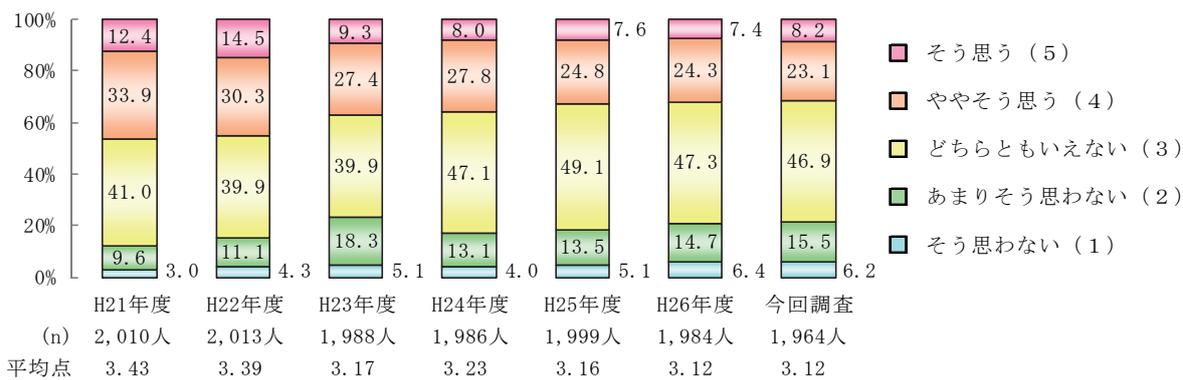


裁判員制度実施後の変化として『事件の真相がより解明されている』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は31.5%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は17.2%となっている。

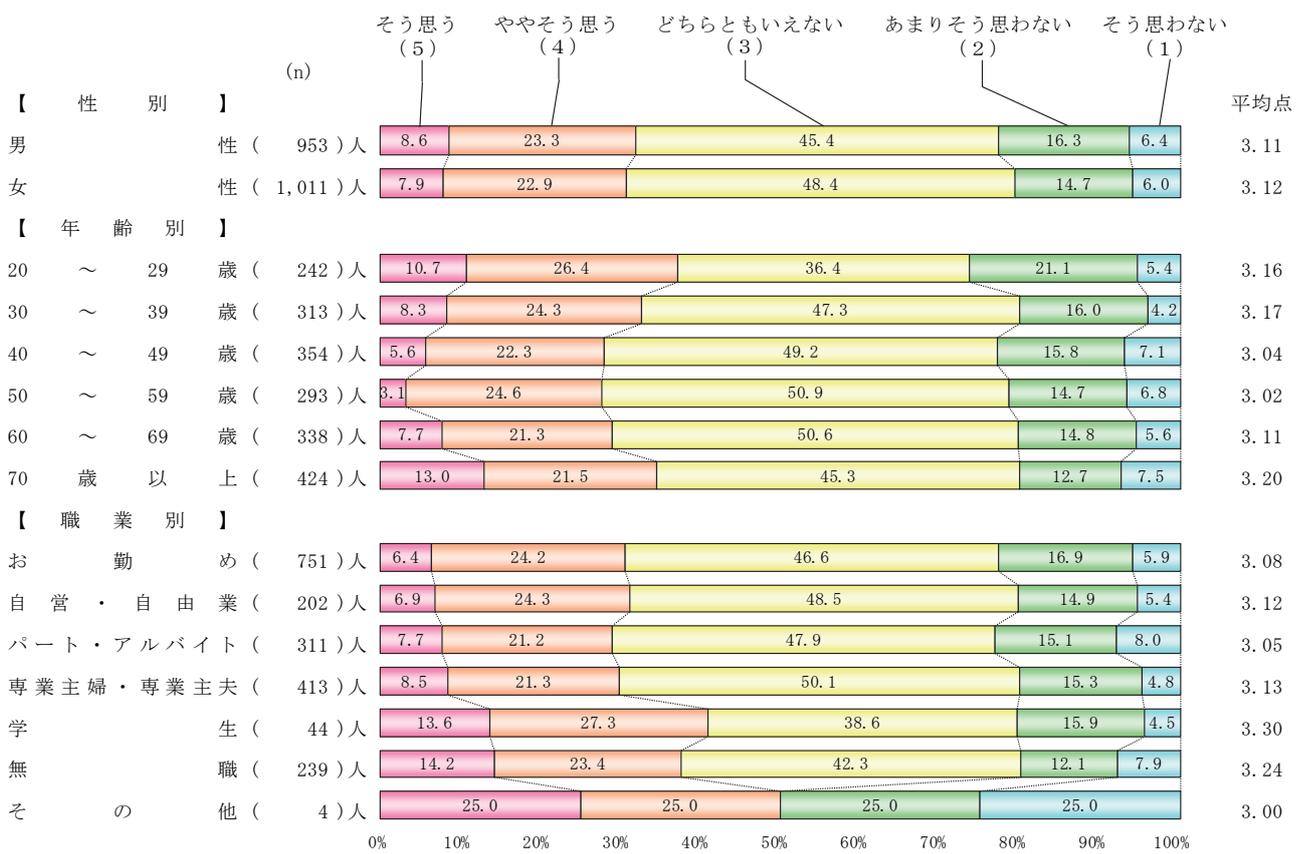


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、70歳以上が最も高く、職業別では、学生が最も低くなっている。

Q 7 (g) 裁判の手續や内容がわかりやすくなった

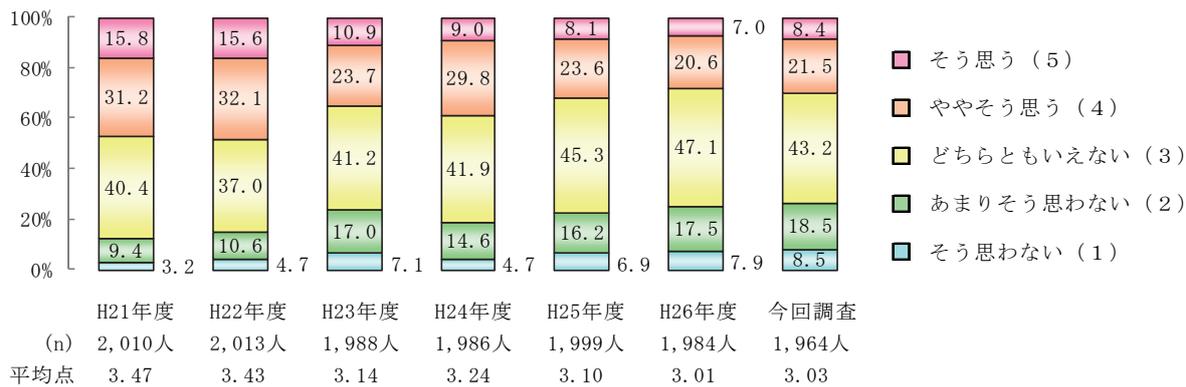


裁判員制度実施後の変化として『裁判の手續や内容がわかりやすくなった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は31.3%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は21.7%となっている。

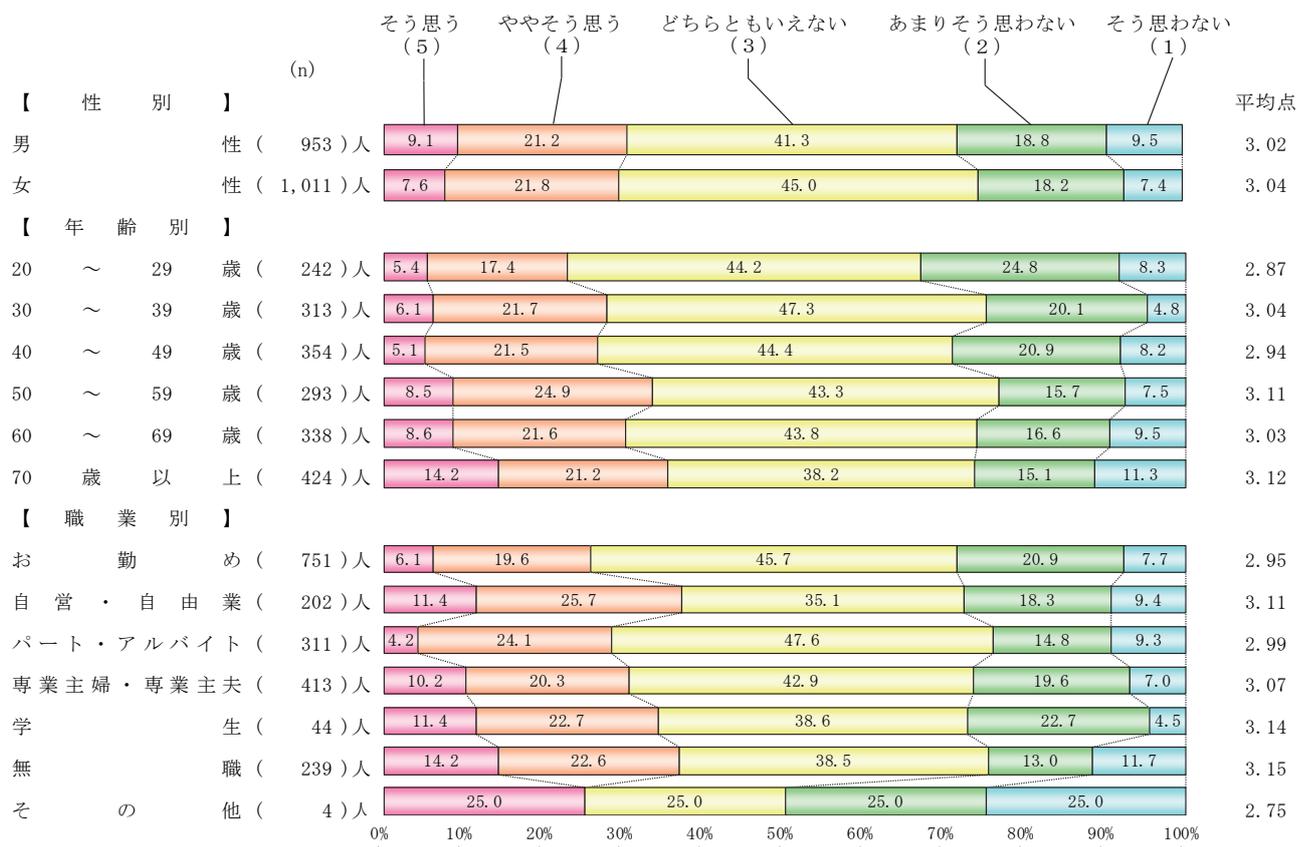


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、20代が最も高く、職業別では、学生が最も高くなっている。

Q 7 (h) 裁判が迅速になった

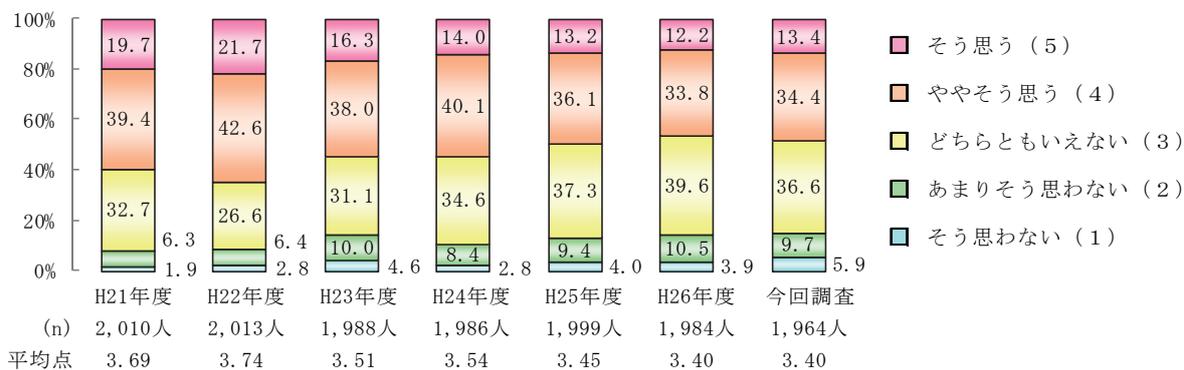


裁判員制度実施後の変化として『裁判が迅速になった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は29.9%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は27.0%となっている。

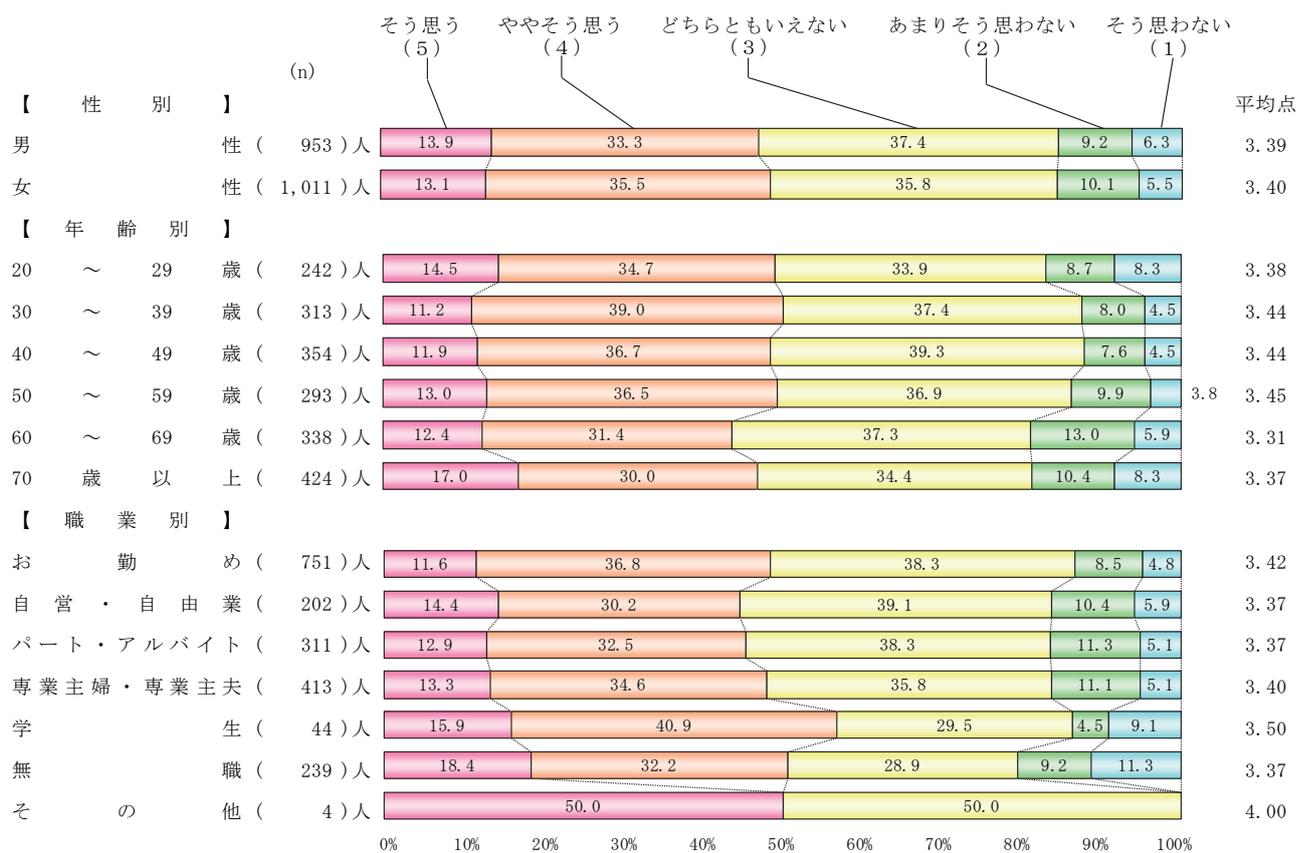


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、70歳以上が最も高く、職業別では、お勤めが最も低くなっている。

Q 7 (i) 刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになった



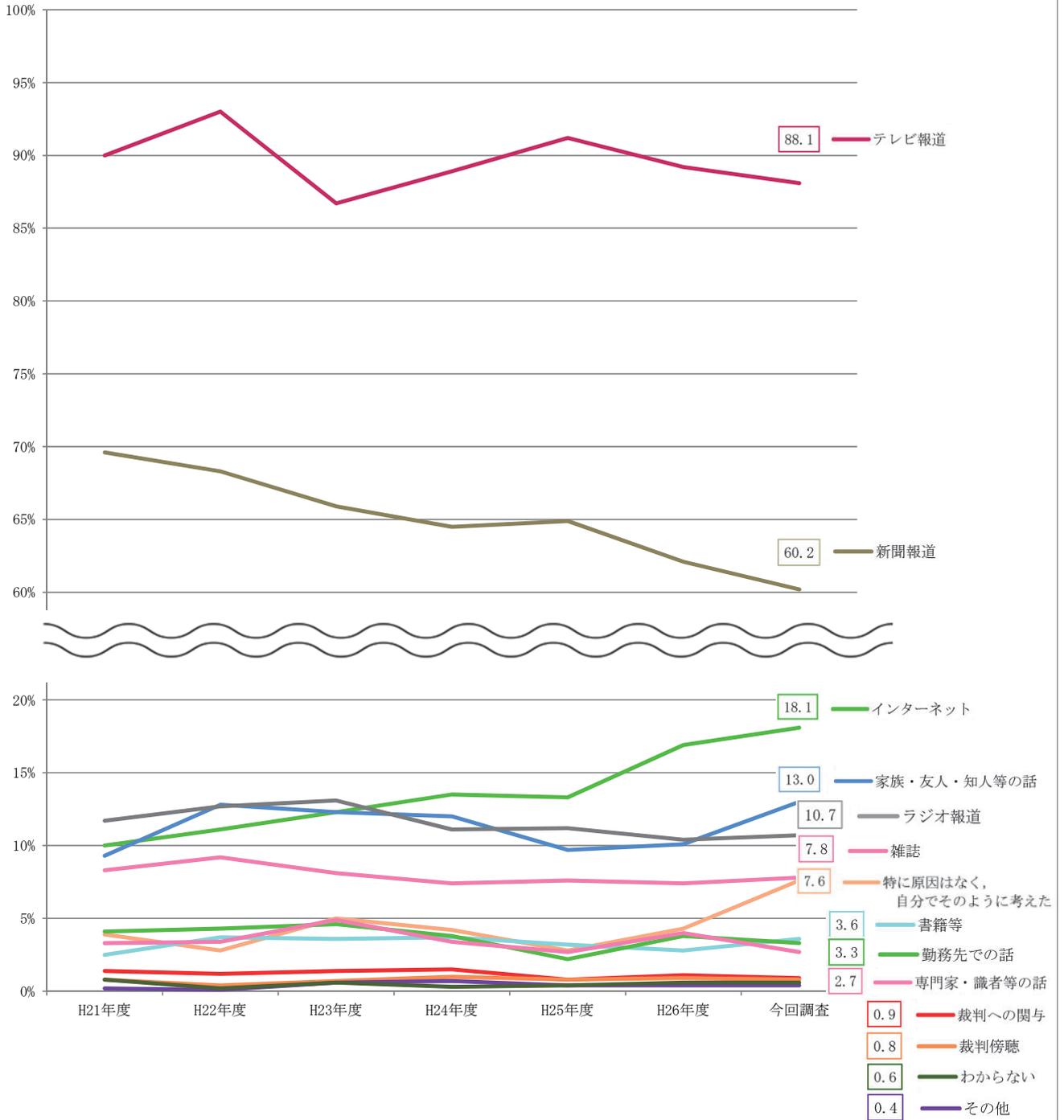
裁判員制度実施後の変化として『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになった』という印象では、『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)は47.8%、『そう思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)は15.6%となっている。



『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、60代が最も低くなっている。職業別では、学生が最も高くなっている。

8 裁判員制度についてQ7の印象を持つことになった原因

Q8 【回答票8】 あなたが前問のような印象を持つことになった原因は何ですか。当てはまるものを、次の中から全てあげてください。(M. A.)



※各折れ線横の数値は今回調査の数値。平成26年度調査以前の数値は次頁を参照。

(n=1,964人, M.T.=218.0%)

現在実施されている裁判員制度についてQ7の印象を持つことになった原因を聞いたところ、「テレビ報道」が88.1%と最も高く、次いで「新聞報道」が60.2%であった。以下、「インターネット」(18.1%)、「家族・友人・知人等の話」(13.0%)、「ラジオ報道」(10.7%)などとなっている。

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	今回調査
該当数 (n)	2,010	2,013	1,988	1,986	1,999	1,984	1,964
テレビ報道	90.0	93.0	86.7	88.9	91.2	89.2	88.1
新聞報道	69.6	68.3	65.9	64.5	64.9	62.1	60.2
インターネット	10.0	11.1	12.3	13.5	13.3	16.9	18.1
家族・友人・知人等の話	9.3	12.8	12.3	12.0	9.7	10.1	13.0
ラジオ報道	11.7	12.7	13.1	11.1	11.2	10.4	10.7
雑誌	8.3	9.2	8.1	7.4	7.6	7.4	7.8
特に原因はなく、自分でそのように考えた	3.9	2.8	5.0	4.2	2.8	4.3	7.6
書籍等	2.5	3.7	3.6	3.7	3.2	2.8	3.6
勤務先での話	4.1	4.3	4.6	3.8	2.2	3.8	3.3
専門家・識者等の話	3.3	3.4	4.9	3.4	2.7	4.0	2.7
裁判への関与	1.4	1.2	1.4	1.5	0.8	1.1	0.9
裁判傍聴	0.8	0.4	0.7	1.0	0.8	0.9	0.8
その他	0.2	0.1	0.6	0.7	0.4	0.4	0.4
わからない	0.8	0.2	0.6	0.3	0.4	0.6	0.6

	該当数 (n)	テレビ報道	新聞報道	インターネット	家族・友人・知人等の話	ラジオ報道	雑誌	特に原因はなく、自分でそのように考えた	書籍等	勤務先での話	専門家・識者等の話	裁判への関与	裁判傍聴	その他	わからない	回答計
TOTAL	1,964	88.1	60.2	18.1	13.0	10.7	7.8	7.6	3.6	3.3	2.7	0.9	0.8	0.4	0.6	218.0
【性別】																
男性	953	86.8	63.0	22.2	10.4	12.4	8.5	8.1	3.9	4.8	3.7	1.0	1.0	0.3	0.8	227.0
女性	1,011	89.3	57.6	14.2	15.4	9.2	7.2	7.2	3.3	1.9	1.9	0.8	0.6	0.5	0.4	209.5
【年齢別】																
20～29歳	242	86.0	32.6	33.5	16.1	2.9	2.9	8.7	3.7	3.7	2.1	0.8	0.8	0.8	0.8	195.5
30～39歳	313	86.6	39.3	28.1	10.5	5.1	4.2	10.9	2.2	3.5	1.6	1.0	1.0	0.3	-	194.2
40～49歳	354	86.4	57.9	22.9	9.0	7.6	7.3	7.1	4.0	4.0	2.3	0.6	0.6	-	0.3	209.9
50～59歳	293	90.8	70.6	20.5	13.3	13.0	10.6	6.1	4.1	4.8	4.1	0.7	0.7	-	-	239.2
60～69歳	338	89.1	75.1	8.3	14.5	18.6	11.8	8.0	4.1	3.8	5.0	1.8	0.9	0.6	0.9	242.6
70歳以上	424	89.2	74.1	4.2	14.9	14.2	8.7	5.9	3.3	0.9	1.7	0.7	0.9	0.7	1.4	220.8
【職業別】																
お勤め	751	87.0	55.1	27.7	10.9	9.2	7.5	8.5	3.1	6.1	2.7	0.4	0.4	0.3	0.4	219.2
自営・自由業	202	89.1	71.8	13.9	11.9	16.8	10.9	6.4	5.0	3.5	4.5	1.5	1.0	1.0	-	237.1
パート・アルバイト	311	88.7	56.6	14.1	11.6	9.0	6.4	6.8	2.6	2.6	1.3	-	0.6	0.3	-	200.6
専業主婦・専業主夫	413	89.8	62.7	9.4	16.7	12.3	7.7	8.0	4.1	0.5	2.9	1.5	1.0	0.5	0.7	217.9
学生	44	93.2	31.8	36.4	27.3	2.3	2.3	2.3	6.8	-	6.8	2.3	2.3	-	-	213.6
無職	239	85.8	71.1	8.8	13.4	11.7	9.6	7.5	3.8	0.8	2.5	2.1	1.7	0.4	2.5	221.8
その他	4	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200.0

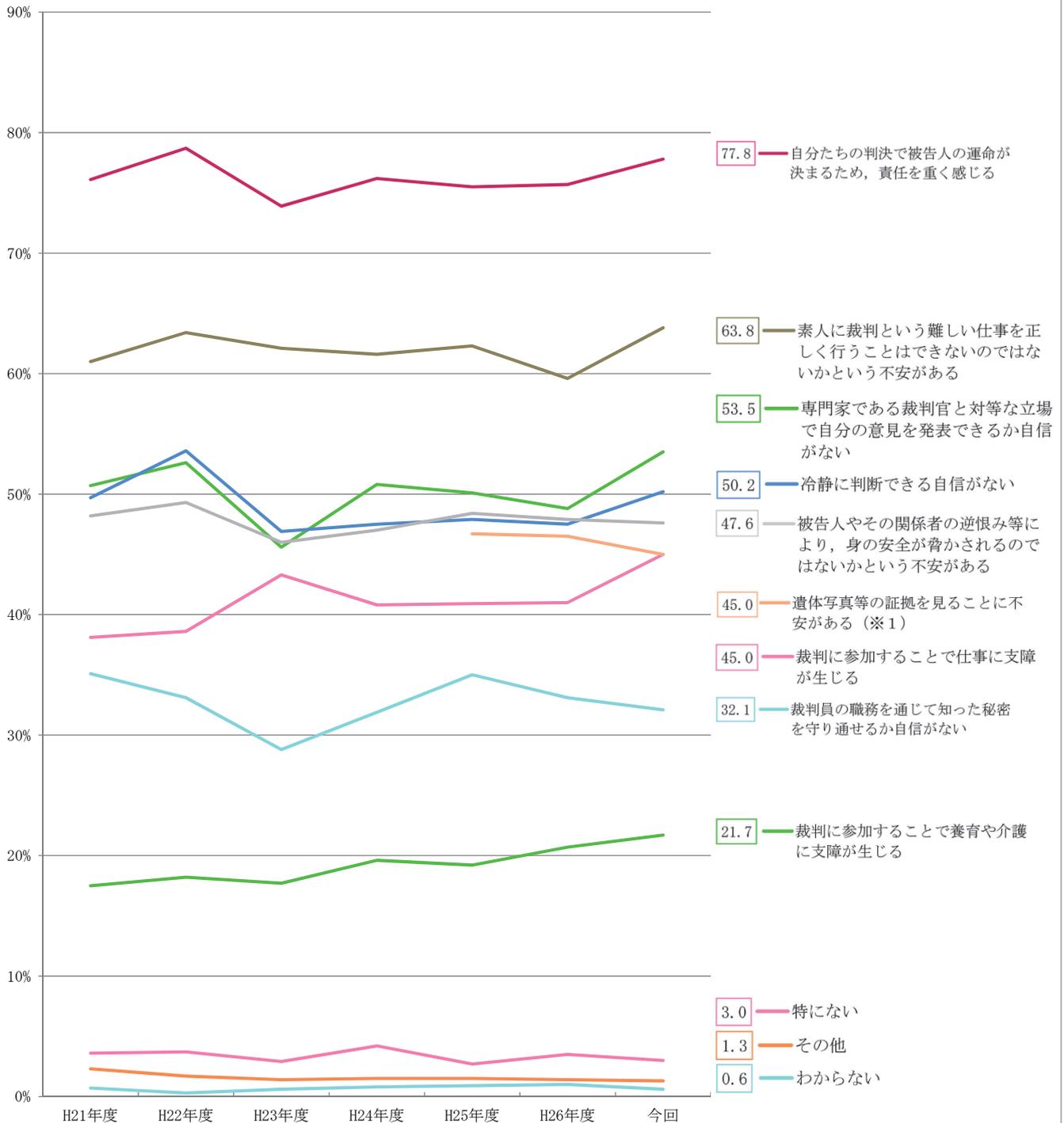
男女別にみると、「テレビ報道」は大きな差はみられない。「新聞報道」、「インターネット」は男性で高く、「家族・友人・知人等の話」は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「テレビ報道」は大きな差はみられず、「新聞報道」は50代以上で、「ラジオ報道」は60代で、「インターネット」は20代から50代で、それぞれ高くなっている。

職業別にみると、「テレビ報道」は無職で低く、「新聞報道」、「ラジオ報道」は自営・自由業で高く「インターネット」は学生で高くなっている。

9 裁判に参加する場合の心配や支障となるもの

Q 9 【回答票 9】 あなたが刑事裁判に参加するとした場合、あなたにとって心配や支障となるものはどれですか。当てはまるものを、次の中からすべてあげてください。(M. A.)



※ 1 「遺体写真等の証拠を見ることに不安がある」は平成 25 年度より新設された選択肢のため、平成 21～24 年度調査時のデータは存在しない。

※ 2 各折れ線横の数値は今回調査の数値。平成 26 年度調査以前の数値は次頁を参照。

(n=1,964 人, M. T.=441.6%)

刑事裁判に参加するとした場合に心配や支障となるものとしては、「自分たちの判決で被告人の運命が決まるため、責任を重く感じる」が77.8%と最も高く、以下、「素人に裁判という難しい仕事を正しく行うことはできないのではないかという不安がある」(63.8%)、「専門家である裁判官と対等な立場で自分の意見を発表できるか自信がない」(53.5%)、「冷静に判断できる自信がない」(50.2%)、「被告人やその関係者の逆恨み等により、身の安全が脅かされるのではないかという不安がある」(47.6%)、「遺体写真等の証拠を見ることに不安がある」、「裁判に参加することで仕事に支障が生じる」(45.0%)、「裁判員の職務を通じて知った秘密を守り通せるか自信がない」(32.1%)、「裁判に参加することで養育や介護に支障が生じる」(21.7%)などとなっている。

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	今回調査
該当数 (n)	2,010	2,013	1,988	1,986	1,999	1,984	1,964
自分たちの判決で被告人の運命が決まるため、責任を重く感じる	76.1	78.7	73.9	76.2	75.5	75.7	77.8
素人に裁判という難しい仕事を正しく行うことはできないのではないかという不安がある	61.0	63.4	62.1	61.6	62.3	59.6	63.8
専門家である裁判官と対等な立場で自分の意見を発表できるか自信がない	50.7	52.6	45.6	50.8	50.1	48.8	53.5
冷静に判断できる自信がない	49.7	53.6	46.9	47.5	47.9	47.5	50.2
被告人やその関係者の逆恨み等により、身の安全が脅かされるのではないかという不安がある	48.2	49.3	46.0	47.0	48.4	47.9	47.6
遺体写真等の証拠を見ることに不安がある (※)					46.7	46.5	45.0
裁判に参加することで仕事に支障が生じる	38.1	38.6	43.3	40.8	40.9	41.0	45.0
裁判員の職務を通じて知った秘密を守り通せるか自信がない	35.1	33.1	28.8	31.9	35.0	33.1	32.1
裁判に参加することで養育や介護に支障が生じる	17.5	18.2	17.7	19.6	19.2	20.7	21.7
特にない	3.6	3.7	2.9	4.2	2.7	3.5	3.0
その他	2.3	1.7	1.4	1.5	1.5	1.4	1.3
わからない	0.7	0.3	0.6	0.8	0.9	1.0	0.6

※「遺体写真等の証拠を見ることに不安がある」は平成25年度より新設された選択肢のため、平成21～24年度調査時のデータは存在しない。

	該当数 (n)	自分たちの判決で被告人の運命が決まるため、責任を重く感じる	素人に裁判という難しい仕事を正しく行うことはできないのではないかという不安がある	専門家である裁判官と対等な立場で自分の意見を発表できるか自信がない	冷静に判断できる自信がない	被告人やその関係者の逆恨み等により、身の安全が脅かされるのではないかと不安がある	遺体写真等の証拠を見ることに不安がある	裁判に参加することで仕事に支障が生じる	裁判員の職務を通じて知った秘密を守り通せるか自信がない	裁判に参加することで養育や介護に支障が生じる	特になし	その他	わからない	回答計
TOTAL	1,964	77.8	63.8	53.5	50.2	47.6	45.0	45.0	32.1	21.7	3.0	1.3	0.6	441.6
【性別】														
男	953	71.6	57.0	47.2	41.6	41.6	29.9	50.9	30.5	15.7	4.8	0.6	0.6	392.0
女	1,011	83.7	70.3	59.4	58.4	53.2	59.1	39.5	33.6	27.4	1.2	2.0	0.5	488.3
【年齢別】														
20～29歳	242	71.5	58.7	46.3	45.0	41.7	35.5	45.9	23.1	14.9	3.7	-	-	386.4
30～39歳	313	71.9	52.4	39.9	40.3	47.3	41.5	55.0	25.2	25.2	3.2	-	0.6	402.6
40～49歳	354	80.5	62.7	52.8	43.2	50.0	45.8	54.8	32.2	23.2	0.8	-	0.3	446.3
50～59歳	293	81.2	66.6	53.6	51.5	49.8	46.1	58.0	37.5	24.2	2.0	1.4	0.3	472.4
60～69歳	338	81.1	69.2	59.5	56.2	47.6	48.8	42.3	37.0	22.2	3.8	1.8	0.6	470.1
70歳以上	424	78.5	70.0	63.4	60.6	47.4	48.3	22.2	34.7	19.8	4.0	3.8	1.2	454.0
【職業別】														
お勤め	751	73.9	58.6	47.1	39.8	42.9	34.2	61.5	28.1	15.4	2.9	-	0.3	404.8
自営・自由業	202	80.2	67.8	55.9	59.4	48.0	42.1	68.3	40.1	29.7	3.0	2.5	0.5	497.5
パート・アルバイト	311	82.3	68.2	61.1	53.7	53.7	59.5	49.8	35.4	23.8	1.0	0.3	0.3	489.1
専業主婦・専業主夫	413	83.3	71.7	59.1	63.4	55.2	60.3	20.8	34.9	32.9	1.5	3.4	0.7	487.2
学生	44	81.8	52.3	47.7	47.7	50.0	34.1	22.7	27.3	11.4	2.3	-	-	377.3
無職	239	71.5	60.3	52.3	48.1	40.2	38.1	13.4	29.7	15.1	8.4	2.5	1.7	381.2
その他	4	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-	450.0

男女別に見ると、上位5項目はいずれも女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「自分たちの判決で被告人の運命が決まるため、責任を重く感じる」は20代・30代で低く、「素人に裁判という難しい仕事を正しく行うことはできないのではないかという不安がある」、「専門家である裁判官と対等な立場で自分の意見を発表できるか自信がない」、「冷静に判断できる自信がない」は60代以上で高くなっている。

職業別に見ると、「自分たちの判決で被告人の運命が決まるため、責任を重く感じる」、「専門家である裁判官と対等な立場で自分の意見を発表できるか自信がない」、「被告人やその関係者の逆恨み等により、身の安全が脅かされるのではないかと不安がある」はパート・アルバイト、専業主婦・専業主夫で、「素人に裁判という難しい仕事を正しく行うことはできないのではないかという不安がある」、「冷静に判断できる自信がない」は専業主婦・専業主夫でそれぞれ高くなっている。